

製品名: CD329 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08364**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

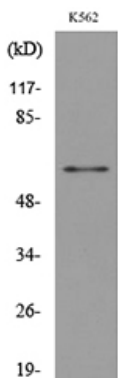
遺伝子名	SIGLEC8
別名	SIGLEC8; SAF2; Sialic acid-binding Ig-like lectin 8; Siglec-8; CDw329; Sialoadhesin family member 2; SAF-2; CD329
遺伝子 ID	27181.0
SwissProt ID	Q9NYZ4
免疫原	抗血清は、ヒト SIGLEC8 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

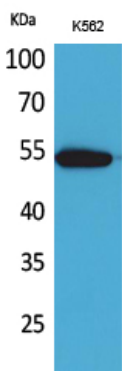
シアル酸結合免疫グロブリン (Ig) 様レクチン、または SIGLEC (例: CD33 (MIM 159590)) は、主に造血細胞においてそれぞれが独自の発現パターンを持つ 1 型膜貫通タンパク質のファミリーです。SIGLEC8 は、SIGLEC の CD33 様サブグループのメンバーであり、19q13.3-q13.4 に局在し、保存された 2 つの細胞質チロシンモチーフを持っています。1 つは免疫受容体チロシン阻害モチーフ (ITIM) (MIM 604964 を参照)、もう 1 つはシグナル伝達リンパ球活性化分子 (SLAM) (MIM 603492) で特定され、SLAM 関連タンパク質 (SAP; MIM 300490) との関連を媒介するモチーフと相同です (Foussias ら、2000 [PubMed 11095983] により要約)。[OMIM 提供、2010 年 5 月]、ドメイン:免疫受容体チロシン阻害モチーフ (ITIM) と呼ばれる細胞質モチーフの 1 つのコピーが含まれています。このモチーフは細胞応答の調節に参与する。リン酸化 ITIM モチーフは、いくつかの SH2 含有ホスファターゼの SH2 ドメインに結合することができる。機能: シアリン酸依存性の細胞結合を媒介する推定接着分子。α-2,3 結合シアリン酸に優先的に結合し、α-2,6 結合シアリン酸にも結合する。シアリン酸認識部位は、同じ細胞表面上のシアリン酸とのシス相互作用によってマスクされる可能性がある。、オンライン情報: Siglec-8,類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。SIGLEC (シアリン酸結合 Ig 様レクチン) ファミリー。、類似性: Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。、類似性: Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 2 つ含む。、組織特異性: 好酸球に特異的に発現する。、

研究分野

画像データ



SIGLEC8 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウェスタン プロット分析。



CD329 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンプロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。